

KUDAN CAN-DO リスト(2022-2023)

千代田区立九段中等教育学校

卒業時における到達目標

- ・ 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
- ・ 4技能をバランスよく身に付け、場面に応じてコミュニケーションをとることができる。
- ・ 知識を深めたい分野について、英語を媒介として独学することができる。
- ・ 希望の進路を実現するために、大学入試等において必要な力を身に付けている。

KUDAN CAN-DOリストの説明

聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、読むこと、書くこと、の技能・領域ごとに、各学年における学習到達目標を示しています。それぞれの技能について、①実生活に関わること、②本校独自の行事やKudan Methodに関すること、③授業に関すること、の観点を定めています。

学習到達目標の設定については、個人差を考え、生徒全体の80%以上が達成できることを目指しています。個々の達成状況に応じて上のグレードを目指して学習させています。

グレードG6プラスは、卒業時に到達すべきグレードG6の学習到達目標を超えた生徒のために定めたものです。生徒全体の20%以上が達成できることを目指しています。

学年末に各学習到達目標がどの程度達成できているかということについて調査を行います。その結果をもとに、各学習到達目標を達成するための指導方法を英語科教員全員で考え、共通の学習指導案を作成して授業を行っています。

「外部の検定試験における目標」として、実用英語技能検定の目標級やGTEC の目標スコアを示し、CEFR※との関連も表記しています。

※ CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assesment「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」)は、外国語学習者の 到達度を示す指標として、欧州評議会によってまとめられた枠組みです。

KUDAN CAN-DOリスト (2022-2023)

技能	学年(グレード) CEFRとの関連 項目	第1学年(学年末)	第2学年(学年末)	第3学年(学年末)	第4学年(学年末)	第5学年(学年末)	第6学年(卒業時)	G6プラス B2
		G1 A1	G2 A1-A2	G3 A2	G4 A2-B1	G5 B1	G6 B1	
Listening 聞くこと	実生活に関わること	[L1-1]はっきりと話してもらえば、簡単な道案内や天気予報などを聞いて必要な情報を捉えることができる。	[L1-2]簡単な表現であれば、買い物、食事、電話などの場面で、必要な情報を捉えることができる。	[L1-3]学校などの施設、乗り物、店などで、短いアナウンスを聞いて必要な情報を捉えることができる。	[L1-4]興味関心のある話題についての動画を視聴して、概要や要点を捉えることができる。	[L1-5]社会的な話題についての対話や説明の動画を視聴して、一定の支援があれば、概要や要点を捉えることができる。	[L1-6]日常生活に関する短いニュース番組や動画を見たり、ラジオを聞いたりして、詳細を捉えることができる。	[L1-6+]内容についてあまり知識のない映画やニュース番組を見ても、推測しながら詳細を捉えることができる。
	本校独自の行事やKudan Methodに関すること	[L2-1]English ShowerやTGGで、簡単な自己紹介や説明を聞いて、概要や要点を捉えることができる。	[L2-2]英語合宿で、日常的な話題を聞いて、説明や指示などを捉えることができる。	[L2-3]英語合宿や海外研修旅行で、ネイティブスピーカーとやり取りをし、相手の意図を把握することができる。	[L2-4]English Showerでのディスカッションにおいて、テーマについて概要や要点を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。	[L2-5]English Showerでのディスカッションで、相手の主張を聞き、その要点や自身の立論に必要な情報などを捉えることができる。	[L2-6]大学教授等による英語の講演やプレゼンテーションを聞き、既習の情報を活用しながら、要点や詳細を捉えることができる。	[L2-6+]English Showerや英語による講演を聞いて、自分の経験や意見などと結び付けながら、要点や詳細を捉えることができる。
	授業に関すること	[L3-1]人物や物事についての説明を、簡単な語句で話してもらえば、概要を捉えることができる。	[L3-2]教科書で扱われた日常的な話題に関する対話を聞き、概要や要点を捉えることができる。	[L3-3]環境問題のような社会で起きていることに関する内容を聞き、写真などの資料を参考にすれば、音声聞いて概要や要点を捉えることができる。	[L3-4]SDGsなどの社会的な話題について、概要や要点を捉えることができる。	[L3-5]歴史や科学などやや専門的な話題について、場面や状況、目的に応じて必要な情報を聞き取ったり、概要や要点を捉えたりすることができる。	[L3-6]言語消失等の社会的な話題に関して、詳細を聞き取り、話の展開や話し手の意図を捉えることができる。	[L3-6+]話題についての知識があまりなくても、詳細を聞き取り、話の展開や話し手の意図を捉えることができる。
Reading 読むこと	実生活に関わること	[R1-1]駅や商業施設などにある簡単な表示を見て、必要な情報を読み取ることができる。	[R1-2]Eメール等の短いメッセージや文章を、辞書を使えば、読んで概要や要点を捉えることができる。	[R1-3]広告やパンフレット、また海外の学校での掲示物を見て、必要な情報を捉えることができる。	[R1-4]学生向けに書かれた英字新聞や洋書を読み、概要や要点を捉えることができる。	[R1-5]学生向けに書かれた英字新聞や洋書を読み、概要や要点を捉えるとともに、自身の興味に応じて必要な情報を捉えることができる。	[R1-6]学習者向けに書かれた英字新聞を読み、目的に応じて要点や詳細を捉えることができる。また、一般向けに書かれた英字新聞を辞書を活用すれば読むことができる。	[R1-6+]一般向けに書かれた英字新聞の興味のある記事や、要点や詳細を目的に応じて捉えることができる。
	本校独自の行事やKudan Methodに関すること	[R2-1]本校多読用図書や初級者用の本を、知っている単語や絵などから内容を推察して、楽しみながら概要を捉えることができる。	[R2-2]英語合宿で使用される学習者向けの教材を読んで、概要や要点を捉えることができる。	[R2-3]英語合宿や海外研修旅行で用いられる学習者向けのテキストを読んで、概要や要点を捉えることができる。	[R2-4]物語の背景に関して理解した上で多読用図書を読み、概要を捉えることができる。	[R2-5]多読用図書を読み、要点や詳細を捉えることができる。	[R2-6]多読用図書や教科書に関連した英文を読み、ほとんど支援なしで、詳細を捉えながら読むことができる。	[R2-6+]小説や論文などを読んで、概要や要点や詳細を捉えることができる。
	授業に関すること	[R3-1]自己紹介や家族紹介が書かれた手紙などの短い文章を、辞書を用いずに読んで、要点を捉えることができる。	[R3-2]簡単な語を用いて書かれた説明文から、目的に応じて必要な情報を素早く探して読み取ることができる。	[R3-3]教育問題のような社会で起きていることに関する文章を読み、写真や図などの資料を参考にすれば、その概要や要点を捉えることができる。	[R3-4]SDGsなどの社会的な話題について、場面や状況、目的に応じて必要な情報、概要や要点を捉えることができる。	[R3-5]歴史や科学などやや専門的な話題について、場面や状況、目的に応じて必要な情報、概要や要点を捉えることができる。	[R3-6]Gritなどの抽象的な話題に関して、800words程度の英文を読んで、目的に応じて概要や要点を捉えることができる。	[R3-6+]様々なタイプの文章を、自分の目的に合わせて適切な方法で読むことができる。
Speaking spoken interaction 話すこと [やり取り]	実生活に関わること	[SI1-1]学校生活や日常生活に関わる身近な話題について、質問したり答えたりできる。	[SI1-2]店でほしいものを伝えたり、値段を聞いたりなどのやり取りを行うことができる。	[SI1-3]簡単な表現や決まり文句を使って、他人に何かを説明したり、自分の要求を伝えたりすることができる。	[SI1-4]アミューズメントパークのパンフやボランティア募集のサイトを見ながら、情報や考え、気持ちを伝え合うやり取りを続けることができる。	[SI1-5]互いに興味関心のある英字新聞記事や英語動画サイトで話される内容について、感想、意見を伝え合うやり取りを続けることができる。	[SI1-6]ニュースで報道された時事問題について、自らの意見や感想を伝えたり、相手の考えを引き出したりしながらやり取りを続けることができる。	[SI1-6+]店、レストラン、公共の施設などで、自分の用件を伝え、問題点などを交渉して解決することができる。
	本校独自の行事やKudan Methodに関すること	[SI2-1]English ShowerやTGGで、初対面の相手にあいさつや自己紹介のやり取りを行うことができる。	[SI2-2]English Showerや英語合宿で、簡単な様々な質問に対し、必要に応じて情報を加えて適切に答えることができる。	[SI2-3]英語合宿や海外研修旅行で、日本や学校、家族など自分に関することを、やり取りを通じて相手に理解させることができる。	[SI2-4]English Showerでのディスカッションで、対話の展開などにおいて、考えや気持ちを話して伝え合うやり取りを続けることができる。	[SI2-5]ディスカッションで、相手の主張に応じて、自身の考えや気持ちを分かりやすく話し、互いに伝え合うやり取りを続けることができる。	[SI2-6]社会的な問題について、これまでの得た知識や経験を生かして短時間の準備でディスカッションやディベートをすることができる。	[SI2-6+]社会的な問題について、これまでの得た知識や経験を生かして即興でディスカッションやディベートをすることができる。
	授業に関すること	[SI3-1]ごく身近なことを相手に質問したり、質問されたことに対し、必要に応じて情報を加えて適切に答えることができる。	[SI3-2]日常的な話題の会話(チャット)を、相づちを打ったり分からないところを聞き返したりしながら、友だちと協力して続けることができる。	[SI3-3]教科書で扱われた話題について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	[SI3-4]SDGsなどの社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。	[SI3-5]歴史や科学などやや専門的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。	[SI3-6]自分が発表したことに関して相手から質問された際、自らが持つ情報量を活用しながら相手を説得することができる。	[SI3-6+]自分が発表したことに相手から質問された際、相手の持っている情報量に合わせて適切に説明し、説得することができる。
Speaking spoken production 話すこと [発表]	実生活に関わること	[SP1-1]食べ物やスポーツなど身近な話題であれば、簡単な語句や文を用いて即興で伝えることができる。	[SP1-2]日常的な出来事や身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で述べるすることができる。	[SP1-3]外国の人に、日本や学校、家族などに関することを即興で伝えることができる。	[SP1-4]日常的話題について、事前に準備をすれば、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	[SP1-5]日常的話題について他者から意見や助言を求められた際に、理由や根拠とともに、相手に分かりやすく伝えることができる。	[SP1-6]社会的な話題について賛成や反対の意見を、即興で伝えることができる。	[SP1-6+]何らかの計画や案に対し、賛成や反対の意見を、即興で相手に分かりやすく述べるすることができる。
	本校独自の行事やKudan Methodに関すること	[SP2-1]English ShowerやTGGなどで、初対面の相手に即興で自己紹介をすることができる。	[SP2-2]英語合宿での体験を、写真や資料を見せながら発表することができる。	[SP2-3]オーストラリアで、日本の文化や学校などについて、相手に分かりやすく説明することができる。	[SP2-4]English Showerのディスカッションのテーマについてやプレゼンテーションにおいて、準備をすれば情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	[SP2-5]ディスカッションのテーマや学習者向けに書かれた英字新聞記事の内容について概要や要点を捉えた上で、自身の意見やその理由などを相手に伝えることができる。	[SP2-6]自らが読んだ英文記事や物語に関して、概要や要点を踏まえて適切に相手に伝えるときにも、自分の意見や感想を述べるすることができる。	[SP2-6+]課題研究などで行ったことや自分の興味のあることについて、短時間でまとめ、聞き手に分かりやすく話すことができる。
	授業に関すること	[SP3-1]人物や物事について、準備をすれば、聞き手に分かりやすいスピーチをすることができる。	[SP3-2]教科書の内容に関して得た情報を分かりやすく整理し、他の人に伝えることができる。	[SP3-3]環境問題のような社会的な話題の文章を読み、内容を整理し、考えや感想を含めたスピーチをすることができる。	[SP3-4]SDGsなどの社会的な話題について、聞いたことを読んだことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	[SP3-5]歴史や科学などやや専門的な話題について聞いたことを読んだことを基に、その概要や自身の感想を聞き手に分かりやすく話すことができる。	[SP3-6]科学的な話題や社会的な話題について聞いたことを読んだことを基に、その概要及び感想や意見を述べるすることができる。	[SP3-6+]聞いたことを読んだことを読んだ社会的な話題の文章を読み、即興で概要及び感想や意見を述べるすることができる。
Writing 書くこと	実生活に関わること	[W1-1]学校生活や日常生活に関わる身近な話題について、簡単な語句や表現を使って書くことができる。	[W1-2]時系列に沿って、事実や感想を日記などに書くことができる。	[W1-3]関心のある事柄や日常的話題について、まとまりのある文章を書くことができる。	[W1-4]関心のある事柄や日常的話題について、理由や根拠とともに、複数の段落を用いて詳しく書くことができる。	[W1-5]日常的話題について他者から意見や助言を求められた際に、理由や根拠とともに、複数の段落を用いて詳しく書くことができる。	[W1-6]ニュースや講演などを聞いたり読んだりして、概要をまとめ、それに対する自分の意見を複数の段落を用いて詳細に書くことができる。	[W1-6+]新聞や雑誌などに投稿するために、自分の意見をまとめよく書くことができる。
	本校独自の行事やKudan Methodに関すること	[W2-1]TGGなど訪れたところで行ったことと感想を、簡単な表現を用いて書くことができる。	[W2-2]英語合宿中の自分の体験を、ポスターや新聞などの形式で書くことができる。	[W2-3]簡単な表現を用いて、ホストファミリーにEメールや手紙の形式で、お礼や感想を書くことができる。	[W2-4]興味のある洋書を読み、概要とその本を勧める文章を載せたポスターを適確な表現を使って書くことができる。	[W2-5]校外学習や修学旅行で訪れた場所について説明する文章を、読み手に分かりやすく書くことができる。	[W2-6]興味のある物語文を読み、その概要を読み手に分かりやすく書くことができる。	[W2-6+]興味のあることを小論文にまとめたり、物語文を創作して書くことができる。
	授業に関すること	[W3-1]自分や身の回りのことについて、学習した語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	[W3-2]将来の夢や自分の好きな物事について、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。	[W3-3]環境問題のような社会で起きていることに関する文章を読んで、感想や意見などを書くことができる。	[W3-4]SDGsなどの社会的な話題について、聞いたことを読んだことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	[W3-5]歴史や科学などやや専門的な話題について聞いたことを読んだことを基に、その概要や自身の感想を複数の段落を用いて書くことができる。	[W3-6]科学的な話題や社会的な話題の文章を読み、複数の段落を用いて意見文を書くことができる。	[W3-6+]社会問題について、読み手を意識した説得力のある文章を書くことができる。

外部の検定試験における目標

GTEC 到達目標スコア		Reading	100	140	180	190	220	250	280
1年次 Core	Listening	120	160	190	200	220	250	290	
2・3年次 Basic	Writing	140	170	220	230	240	260	300	
4年次~ Advanced	Speaking	110	200	220	250	280	300	320	
英検	英検取得目標級()内は取得率 CSE達成スコア	英検4級相当(80%) CSEスコア:800以上	英検3級相当(80%) CSEスコア:1,500以上	英検準2級相当(80%) 英検2級相当(20%) CSEスコア:1,800以上	英検2級相当(50%) CSEスコア:1,900以上	英検2級相当(80%) CESスコア:2,000以上	英検準1級相当(40%) CSEスコア:2,200以上	英検準1級相当 (CSEスコア:2,350以上)	